



# 令和7年度 菊陽南小学校 グランドデザイン



## 菊陽町学校教育努力目標

- 1 学力の向上と個性を生かす創意ある教育の推進
- 2 豊かな人間性と健やかでたくましい体の育成
- 3 人権教育の充実
- 4 特別支援教育の推進
- 5 地域とともにある学校づくりの推進

## 菊陽町教育委員会取組の重点

- 1 学力の向上
- 2 健康教育・心の教育の充実
- 3 教育支援の充実
- 4 働き方改革・不祥事防止・学校事故防止の徹底

## 学校教育目標

**学び、考え、行動する  
南っ子**

## 学校努力目標

一つ一つの取組に「具体性」をもたせ、「徹底と継続」を図る組織の力で、しなやかに生き抜く子どもを育てる学校にする

## 菊陽の人づくり

### 地域の願い

ふるさとを愛し、人間性豊かな、心身共に健やかな子どもたちを育成してほしい。

### 保護者の願い

毎日楽しく登校し、思いやりのある子どもに成長してほしい。

自ら学ぶ意欲を高めるとともに、個に応じた指導を充実させ、学力、体力の向上を図ってほしい。

## 熊本の人づくり

- ・ 熊本県教育大綱
- ・ 熊本県教育振興基本計画
- ・ 熊本県教育庁各課取組の方向
- ・ 菊池教育事務所取組の方向
- ・ 菊陽町教育大綱及び教育振興基本計画

## めざす学校像

- 児童 「今日も楽しかった」「明日も行きたい」
- 保護者 「通わせてよかった」「関わってよかった」
- 職員 「勤めてよかった」「充実した仕事できた」

## めざす児童像〈校訓〉

- 「やさしく」  
自他を見つめ、想い、行動し、他者とつながることができる子ども
- 「かしこく」  
自ら進んで課題に取り組み、粘り強く学び続ける子ども
- 「たくましく」  
自他の生命を大切に、健康や安全に気を付けて生き抜く子ども

## めざす教職員像

- 教育的愛情と人権感覚を持ち、子どもの可能性を信じ、共に未来を切り拓く教職員
- 役割と責任を自覚し、研究と修養で自らを高め続ける教職員
- 子どもや保護者、地域住民から信頼されるとは何かを考え続ける教職員

## やさしく

### ■身に付けさせたい資質・能力■

- ◇自分や人を大切にし、他者とつながることができる力
  - ・ 「六つの名人が身に付いている」
  - ・ 「相手の立場に立った言動をしている」
  - ・ 「自分にはいいところがある」児童が80%以上になる。
- ◇明るいあいさつ及び円滑なコミュニケーションを実践できる力
  - ・ 「あいさつが進んでできる」
  - ・ 「集団の中で積極的にコミュニケーションを図っている」
  - ・ 「自分のクラス、学校が好き」児童が80%以上になる。

### ■重点実践事項■

- ★生徒指導の充実～規範意識と支持的風土の醸成を図る共通実践～（学習規律の徹底、基本的生活習慣「六つの名人」の意図的かつ継続的指導
- ★学級活動、児童会活動、縦割り班活動における「考え、行動する」子ども主体の活動の推進
- ★人権教育の充実（くらしを見つめ、書き綴り、共有することにこだわり、人間関係を繋ぎ、人権感覚や科学的なものの見方を育てる。）
- ★新聞を活用して（NIE）、社会や世界の出来事に目を向ける取組をととして、人権感覚や科学的なものの見方を育てる。

## かしこく

### ■身に付けさせたい資質・能力■

- ◇自ら進んで、粘り強く課題に取り組むことができる力
  - ・ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」児童が80%以上になる。
  - ・ 県学力・学習状況調査等で、正答率が前年度を上回る。
- ◇主体的に考えを深め、表現することができる力
  - ・ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」児童が80%以上になる。
- ◇自ら進んで家庭学習に取り組むことができる力
  - ・ 「自分で計画を立て予習や復習をしている」児童が70%以上になる。

### ■重点実践事項■

- ★「きくようのちから」「菊陽スタンダード」をもとにした、学習規律の徹底及び主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ★学力分析と、目標値未達の児童の理解が進むよう、課題解決のための手立てを明確にした具体的取組の継続
- ★考えを文章や言葉で表現する「自己表現力」を高める授業づくり
- ★ロイロノートやタブドリ等ICTの積極的、効果的な活用

## たくましく

### ■身に付けさせたい資質・能力■

- ◇自ら進んで体力の向上に取り組むことができる力
  - ・ 「体育の授業及び体育的行事等に意欲的に取り組んでいる」「体力の向上が見られる」児童が80%以上になる。
- ◇食べることの大切さを理解し、好き嫌いをなく食べようとする力
  - ・ 「好き嫌いをなく給食を食べようとしている」児童が80%以上になる。
- ◇安全について主体的に判断し適切に行動することができる力
  - ・ 「登下校時のきまりを守っている」「校内で安全に気を付けて生活している」児童が90%以上になる。

### ■重点実践事項■

- ★体力テストの結果分析を活用した体力向上のための共通実践の徹底
- ★体力向上に向けた、学級や委員会における日常的な取組（学級全員遊び、縦割り班遊び等）
- ★学校給食を通じた食育の充実
- ★交通事故や水難事故、不審者等の危険から身を守る指導の充実と家庭・地域・関係機関と連携した実践的な訓練の実施

## 1day1call 運動の推進

## 社会に開かれた教育課程の推進

- 育成を目指す資質・能力を子ども、家庭、地域及び関係機関等で共有し、連携・協働する指導体制を構築
- 地域との連携・協働による特色ある教育活動の推進

## 特別支援教育の推進 人権教育の充実

## 信頼される学校づくりの推進

- 不祥事防止の徹底
- チームとして協働する職員組織「リーダーシップとフォロワーシップ」「互いが互いの応援団」

## 地域学校協働活動の充実

## 地域とともにある学校づくり

## 学校運営協議会（南ba小会）